

■地域名 駒ヶ根市中沢地区

■特徴的な被害対策 地区をあげて取り組む総合防除

1 地域の概要

集落戸数		加害鳥獣	被害農作物等	備考
	うち農家			
920	503	シカ、イノシシ	水稲、果樹、野菜	

2 実施した被害対策の内容

区分	実施に当たって工夫等したポイント
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成 10 年頃から急に被害が深刻になり、市協議会の助成や中山間地域直接支払事業の交付金を用い、各集落や農家個々に被害に遭った水田等を防護ネットや電気防護策で困う対策を取っていた。 平成 19 年より補助事業を活用して、地区全体を防護柵で困う方式で対策を進め、21 年度で地区全体をほぼ困うことができた。
被害対策	生息環境対策 <ul style="list-style-type: none"> 緩衝帯整備：12ha (H19~21)
	防除対策 <p>防護柵(金網柵) 25,961m H19：15,161m、事業費 51,471 千円 (交付金 21,774 千円) H20：4,000m、事業費 1,090 千円 (市単) H21：6,800m、事業費 40,000 千円 (交付金 22,384 千円) * 急傾斜な山間部もあるため、施工は専門の業者に発注。 ・ 市道・農道からの侵入対策としてグレーチング+ゼブラ塗装を実施。 ・ H22 以降、飛び地や隣接の地区に防護柵を拡大していく予定。</p>
	捕獲対策 <ul style="list-style-type: none"> 地元猟友会の協力を得て、捕獲檻・わなを設置。(捕獲檻約 30 基、くくりわな 100 ヶ所以上) 地区として、猟友会に依頼して一斉駆除を年 3 回実施。また、埋設のために市から地区営農組合に助成。 狩猟免許取得に対して、地区営農組合が費用を助成。
効果	被害状況 <p>水田内への侵入や食害により野菜等が全滅など深刻な被害が発生していたが、防護柵設置後、被害は激減している。</p>
	その他特記事項 <ul style="list-style-type: none"> 中山間地域農業直接支払事業により地区内の 12 集落が防護柵の維持管理を行っている。(最初に活動した集落がモデルとなり、約束事等が他集落へ波及) また、メンテナンス講習会を施工業者に依頼して開催。 維持管理作業は日を決めて、集落全体でやることとしている。(個人に任せるとどうしても手を抜きがちになってしまうため)
農家の方からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> 防護柵整備により、獣害は確実に減少している。 各集落により補助金の負担方法や維持管理の出役方法等はまちまちであるが、組合員(農家)は納得して活動している。

3 これからの課題

失敗した事柄	
これからの課題	<p>防護柵を設置したことでシカの動きが変わり、天竜川を渡る個体も見られる。他地区への被害拡大が懸念される。</p> <p>ニホンザルの侵入があり、追い払いを徹底したことで、今のところ出没はなくなったが警戒が必要。</p>

4 問合せ先

上伊那地区野生鳥獣被害対策チーム：上伊那地方事務所農政課 電話 0265-76-6814
 " 林務課 0265-76-6823
 駒ヶ根市役所農林課 0265-83-2111



集落関係者打ち合わせ



同左



防護柵の設置状況



同左



グレーチング+ゼブラ塗装



施工業者によるメンテナンス講習会

